

旧沼宮内界隈の「まちの魅力」

岩手町は「道の駅石神の丘」と「石神の丘美術館」を中心に人気が高まっている。一方、地域には独自の歴史文化が反映されたまちなみなど、風土性豊かな景観が残っているが、資源としての認識が薄く、せっかくの資源が活かされていないエリアが多数ある。

今回のいわてまちづくり事業では、町全体が「歩いて楽しいまち」になるような、近代建築を中心とした、地域資源の洗い出しを行い、その資源についての活用方法を検討することとした。具体的には以下の2点を沼宮内の町を中心に行う。

- (1) 岩手町沼宮内地区の地域固有の建築景観を中心とした資源をまちあるきで抽出、共有、資源図としてプロット。
- (2) ワークショップ手法を用いて、抽出された資源をもとに、「道の駅、石神の丘」との連携による活用方法を検討する。



点検実施地域：岩手町沼宮内、第1回WS主な訪問先



第1回WSの様子



作成したマップ

活動内容

第1回ワークショップ(11/19)

- 町なかに残る古い建築を中心に、現在のコミュニティスペースや、庭園等を見て回った。
- 町並みの景観をなす外からの眺めはもちろんだが、内の調度品も状態良く残っており、ポテンシャルが高いことがうかがえた。
- まちを巡った後、意見交換会を行い、魅力に感じたこと、歩く際に気を付けたいことなど、つながる意見が集まった。

第2回ワークショップ(12/17)

- 第1回ワークショップを受け、マップ(案)を作成。報告会形式で見てもらい、追加の意見などを集めた。

マップ作製

- 道の駅石神の丘を起点・終点として、ワークショップで巡った訪問先をプロットしたマップ。歩いて巡ることで、途中に流れる川の景色や、町並みをみてもらうことを狙う。
- 所要時間やポイントを書くことで、行動のきっかけを作る。
- マップは今後、駅などに配架し自由に持ち帰れるようにし活用予定。

第1回ワークショップの主な訪問先



①上路旅館

1936年(昭和11年)竣工、木造2階建て。アルミサッシ以外は建設当時のままで、豪壮な造りがよく保存されている、歴史を感じられる。(現在は、宿としての営業は終了している。)



②コミュニティスペース  
かきくけ煌  
わくわくサロンじょい

築百年余り経過した旧家の母屋や蔵を改装して作られたコミュニティスペース。講習会や講演会や読み聞かせ、イベントやコンサートなどにも幅広く活用されている。



③桜山荘

幕末から明治時代にかけて酒造業、産馬家として繁栄した岩手町の柴田家が、冠婚葬祭用に使用していた別荘。裏山にヤマザクラが咲き、桜の名所であったことから「桜山荘」と称するようになった。



④石神の丘

国道4号線沿いにある、レストランや軽食、産直、美術館などがあり、季節ごとに様々なイベントが解されており、美術館のラベンダーが有名で、いろいろな楽しみ方ができる道の駅です。



⑤街の駅よりーじゅ

生産者、商業者、消費者が交流できる場「街の駅」。沼宮内地区の「山見」という風習にスポットを当て、「山見の市」を支援し、人々の交流の活性化を図るとともに、町の文化を発信する施設。

第1回ワークショップでの意見や感想(初めて岩手町を歩く学生などからもらった感想)

- ・ 駅から石神の丘に行くときに横断歩道が大変。
- ・ まちなかの広い道が印象的。
- ・ 桜山荘を皆さんにも紹介したい。
- ・ なぜ彫刻の町なのか知りたい。

来年度は、町の景観の魅力を発掘・再認識するためのフォトコンテスト、景観を楽しむまち歩き企画等検討中。また開催の際は単独イベントとせず、他のイベントや建物の公開日と合わせるにより、町内の周遊性を高める計画とする。